

エコアクション21

■ 環境活動レポート ■

2019年度
(2018年8月～2019年7月)

 株式会社 花園サービス

発行 2019年 10月 26日

目 次

環境方針	1
会社概要	2
1. 事業者及び代表者名	2
2. 環境管理責任者及び連絡先	2
3. 事業所	2
4. 組織概要及び事業規模	2～3
<input type="checkbox"/> 法人設立年月日	
<input type="checkbox"/> 資本金	
<input type="checkbox"/> 売上高	
<input type="checkbox"/> 従業員数	
<input type="checkbox"/> 工場延べ床面積	
<input type="checkbox"/> 組織図	
<input type="checkbox"/> 会社沿革	
<input type="checkbox"/> 主要設備	
<input type="checkbox"/> 保有車両	
5. 事業内容	3
6. 認証登録範囲	3
7. 事業計画の概要	4～6
主な環境負荷の実績	7
環境目標及びその実績	7
環境活動の取組み計画と評価	8
環境関連法規制等の順守状況	9
順法の評価	9
処理工程図(産廃・一廃)	10～11
受託した産業廃棄物の処理量	12
処理料金	13
代表者による総括	14

環境理念

株式会社 花園サービスは、日々の事業活動によって発生する環境負荷の削減に継続的に取り組み、地域の環境保全の向上に努め、地球温暖化等の解決に向けた循環型社会の構築に寄与します。

環境方針

株式会社 花園サービスは、廃棄物処理を通じ、環境に携わる企業としての責任と当社での事業活動に伴う環境への影響を認識し、社員一丸となり環境保全活動に取り組み、環境負荷削減に努めるため、以下の方針に基づき活動します。

1. 当社の事業活動による環境負荷を削減するため、環境マネジメントシステムを構築し、環境負荷の継続的改善に努めます。
2. 当社の事業活動に関係する環境法令・条例・協定及び当社が同意するその他、要求事項を遵守します。
3. 環境目標を掲げ、目標に向けた活動計画を策定し全社員は、目標達成に向け活動し、必要に応じ、継続的改善に努めます。当社は、廃棄物の収集運搬業、中間処理業を事業活動としており下記の事項を重点的に取り組みます。
 - ① 収集運搬業務では、運搬車両や重機の省エネ運転に努め二酸化炭素の排出量削減を図ります。
 - ② 中間処理業務では、廃棄物の再資源化率の向上に努め廃棄物の最終処分量削減を図ります。
 - ③ 省エネ、省資源を推進し、「電力」「水資源」の使用量削減を図ります。
 - ④ グリーン購入の推進として社内備品(コピー用紙・フラットファイル・ボールペン)のグリーンマーク商品を80%以上優先購入を図ります。
4. 環境方針を全従業員に周知するとともに環境教育を通じて環境保全に関わる意識の向上を図ります。
5. 環境活動レポートを作成し、一般に公開する。

平成18年8月1日制定

平成26年1月7日改定

株式会社 花園サービス
代表取締役 丸山 司

会社概要

1. 事業者名及び代表者名

事業者名	株式会社 花園サービス	
代表取締役	丸山 司	平成28年9月28日 重任
専務取締役	竹沢 修司	平成28年9月28日 就任
取締役	丸山 巖	平成28年9月28日 就任
監査役	丸山 清子	平成26年9月26日 重任

2. 環境管理責任者及び連絡先

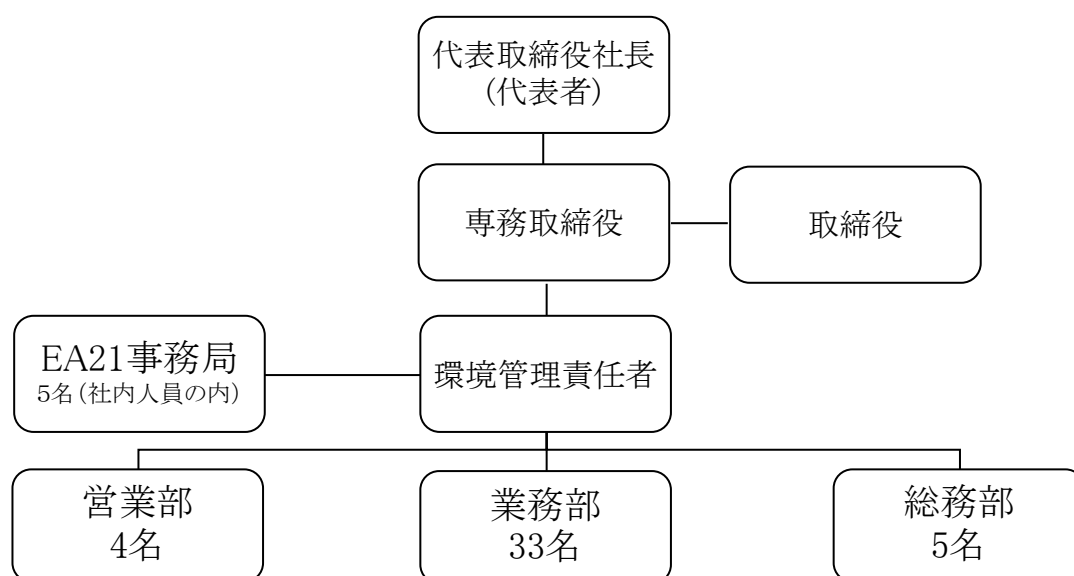
責任者	環境管理責任者	阿部 嘉寛
所在地	〒940-2053 新潟県長岡市福道町354番地3	
T E L	0258-29-1122	
F A X	0258-29-1962	
U R L	http://www.hanazono-eco.co.jp	
E-mail	info@hanazono-eco.co.jp	

3. 事業所及び関連事業所

本社・第一工場 新潟県長岡市福道町354番地3
第二工場 新潟県長岡市福道町字前田386番地1外1筆

4. 組織概要及び事業規模

- 法人設立年月日 昭和48年3月
- 資本金 1,300万円
- 売上高 719百万円（平成30年8月1日～令和1年7月31日）
- 従業員数 43名
- 敷地面積 5,329m²
- 組織図



□会社沿革

昭和46年11月	長岡市一般廃棄物処理業許可を取得
昭和48年3月	有限会社花園サービス会、資本金100万円にて設立
昭和48年8月	新潟県産業廃棄物収集運搬業許可を取得
昭和51年8月	資本金を250万円に増資
平成6年11月	資本金を300万円に増資
平成8年7月	新潟県特別産業廃棄物収集運搬業許可を取得
平成8年9月	新潟県産業廃棄物処分業許可を取得
平成10年6月	資本金を1,000万円に増資
平成10年7月	株式会社花園サービスに組織変更
平成11年10月	新潟県廃棄物再生事業者登録
平成16年1月	長岡市一般廃棄物処分業許可を取得
平成16年10月	長岡市一般廃棄物処理業務委託を開始
平成17年10月	新潟市産業廃棄物収集運搬業許可を取得
平成18年11月	新潟県計量事業登録
平成19年4月	電子マニフェストシステムを導入
平成19年10月	古物商許可を取得
平成19年11月	第一種フロン類回収業者登録
平成20年12月	資本金を1,300万円に増資
平成21年2月	エコアクション21認証取得
平成23年1月	優良産業廃棄物収集運搬業認定取得
平成28年7月	優良特別管理産業廃棄物収集運搬業認定取得
平成28年11月	優良産業廃棄物処分業認定取得

□主要設備

施設名	処理品目(産業廃棄物)	処理品目(一般廃棄物)
破砕・溶融処理施設	廃プラスチック類(発泡スチロール)	廃プラスチック類(発泡スチロール)
圧縮梱包処理施設	廃プラスチック類、紙くず、金属くず	廃プラスチック類、紙くず、金属くず
破砕選別処理施設	廃プラスチック類、紙くず、金属くず、 ゴムくず、木くず、繊維くず、 ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	廃プラスチック類、紙くず、金属くず、 木くず、繊維くず、動植物性残さ
圧縮梱包処理施設	廃プラスチック類、紙くず、金属くず、 繊維くず	
自走式粉砕機		木くず
裁断処理機		繊維くず
磁力選別圧縮機		金属くず
圧縮破砕機		ガラスくず及び陶磁器くず

※稼働時間はいつでも8時間

□保有車両

車種	積載量	台数	車種	積載量	台数
塵芥車(パッカー車)	2.0 t	14台	パワーゲート付トラック	2.0 t	1台
アームロール	4.0 t	6台	小型移動式クレーン車	3.0 t	2台
アルミバントラック	2.0 t	7台	移動式クレーン車(ヒアブ)	2.0 t	1台
					合計 31 台

5. 事業内容

廃棄物の収集運搬、処分、再生に係る業務

- 一般廃棄物処理業(収集運搬・処分)
- 優良産業廃棄物処理業(収集運搬・処分)
- 優良特別管理産業廃棄物収集運搬業
- 第一種フロン類回収業
- 廃棄物再生事業(廃プラスチック類)
- 古物営業許可

6. 認証登録範囲

全組織・全事業

7. 事業計画の概要

産業廃棄物

新潟県内の各事業所より排出される産業廃棄物、特別管理産業廃棄物の収集運搬を行っており、処分に関しては、収集した廃棄物を選別分別し、自社の工場にて中間処理をし、最終処分量が低減できるよう廃棄物の再資源化に努めています。

□許可の内容

① 産業廃棄物収集運搬業許可{優良}(新潟県)

許可番号 1514034007
 許可の年月日 平成30年1月22日
 許可の有効年月日 令和6年11月9日
 事業の範囲 ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(石綿含有産業廃棄物を含む。)
 廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、がれき類(以上、石綿含有産業廃棄物を除く。)
 燃え殻、廃油、動植物性残さ、金属くず
 (以上、水銀使用製品産業廃棄物を除き、水銀含有ばいじん等を含む。)
 収集・運搬(積替え・保管を除く。)
 廃酸、廃アルカリ、ばいじん、ゴムくず(以上、医療系廃棄物に限る。)、
 汚泥、鉍さい(以上、水銀使用製品産業廃棄物を除き、水銀含む有ばいじん等を含む。)

積替え保管施設

種類	保管面積(m ²)	保管量(m ³)	高さ(m)
廃プラスチック類	54.72	68	—
金属くず	13.68	16	—
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	25.3	20.7	—
木くず(屋外)	64	95	2.5
繊維くず	6.84	8	—
動植物性残さ	6.84	8	—
燃え殻	6.84	8	—
廃油	3	0.4	—
紙くず	6.84	8	—
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず (石綿含有産業廃棄物に限る。)	4	4	—
廃蛍光管	2.8	4.2	—

※木くず(屋外)以外の種類は、すべて専用容器内にて保管。

② 特別管理産業廃棄物収集運搬業許可{優良}(新潟県)

許可番号 1564034007
 許可の年月日 平成28年7月26日
 許可の有効年月日 令和5年7月25日
 事業の範囲 廃油、廃酸、廃アルカリ、廃石綿等、感染症産業廃棄物 収集・運搬(積替え・保管を含む)
 燃え殻、汚泥、ばいじん 収集・運搬(積替え・保管を除く)

③ 産業廃棄物処分業許可{優良}(新潟県)

許可番号 1524034007
 許可の年月日 平成28年11月8日
 許可の有効年月日 令和5年9月24日
 事業の範囲 中間処理(破碎・溶融処理、圧縮梱包処理、破碎選別処理)
 産業廃棄物の種類 破碎・溶融処理(廃プラスチック類(発泡スチロールに限る。))、
 圧縮梱包処理(廃プラスチック類、紙くず、金属くず、繊維くず)
 破碎選別処理(廃プラスチック類、木くず、金属くず、紙くず、ゴムくず、
 ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、繊維くず)

④主要施設

(1)・施設の種類

破砕・溶融処理施設

・施設の設置場所

新潟県長岡市福道町354番地1

・施設の設置年月日

平成 29年 3 月 3 日

・施設の処理能力

0.8 t／日（8時間）

(2)・施設の種類

圧縮梱包処理施設

・施設の設置場所

新潟県長岡市福道町354番地1

・施設の設置年月日

平成 19年 2 月 9 日

・施設の処理能力

廃プラスチック類(1.92 t／日)

紙くず(1.60 t／日)

金属くず(1.92 t／日)（以上、8時間）

(3)・施設の種類

破砕選別処理施設

・施設の設置場所

新潟県長岡市福道町354番地1

・施設の設置年月日

平成 12年 8 月 15 日

・施設の処理能力

紙くず(1.8 t／日)、ゴムくず(1.4 t／日)

廃プラスチック類(1.8 t／日)、繊維くず(0.7 t／日)

ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(4.6 t／日)

(以上、8時間)

(4)・施設の種類

圧縮梱包処理施設

・施設の設置場所

新潟県長岡市福道町386番地1外1筆

・施設の設置年月日

平成 23年 7 月 15 日

・施設の処理能力

廃プラスチック類(54.9 t／日)

紙くず(58.4 t／日)

繊維くず(115.3 t／日)

金属くず(87.8 t／日)（以上、8時間）

⑤新潟県再生事業者登録

登録番号 (登) 11第801号

登録年月日 平成11年10月7日

廃棄物の再生に係る事業の内容 廃プラスチック類(発泡スチロール)の再生

一般廃棄物

長岡市の各事業所より排出される一般廃棄物の収集運搬、処分を行っており、処分に関しては、収集・運搬した廃棄物を選別分別し、各種類ごとに自社の工場にて中間処理を行っております。中間処理をした廃棄物は、できるだけリサイクルをして単純焼却、最終処分量を削減するべく再資源化率の向上に取り組んでおります。

□許可の内容

① 一般廃棄物収集運搬業許可

取扱廃棄物の種類	一般廃棄物(ごみ)
業務内容	収集及び運搬
許可年月日	平成30年4月1日
許可期限	平成30年4月1日から平成32年3月31日まで
許可区域	長岡市内

② 一般廃棄物処分業許可(中間処理)

取扱廃棄物の種類	一般廃棄物のうち 廃プラスチック類、木くず、繊維くず、動植物性残さ、紙くず、 金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず
業務内容	処分(中間処理)
許可年月日	平成31年4月1日
許可期限	平成31年4月1日から平成33年3月31日まで
許可区域	申請書に記載の施設設置場所

□事業の用に供するすべての施設

No	施設の種類	設置場所	設置年月日	処理能力	処理品目
1	破碎・溶融処理施設	新潟県長岡市福道町354番地3	平成9年12月17日	1.2t/日	廃プラスチック類 (発泡スチロール)
2	圧縮梱包処理施設	新潟県長岡市福道町354番地3	平成11年5月12日	2.0t/日	廃プラスチック類、紙くず、 金属くず
3	破碎選別処理施設	新潟県長岡市福道町354番地3	平成12年7月25日	3.5t/日	廃プラスチック類、紙くず、 金属くず、繊維くず、木くず、 動植物性残さ
4	自走式粉碎機	新潟県長岡市福道町386番地1	平成16年11月25日	4.4t/日	木くず
5	裁断処理機	新潟県長岡市福道町354番地3	平成16年11月25日	3.0t/日	繊維くず
6	磁力選別圧縮機	新潟県長岡市福道町386番地1	平成18年12月12日	4.0t/日	金属くず
7	圧縮破碎機	新潟県長岡市福道町386番地1	平成19年8月27日	2.0t/日	ガラスくず及び陶磁器くず

項目	単位	2019年
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /年	558,953
【廃棄物排出量】		
一般廃棄物(自社)	kg/年	347
事業系一般廃棄物(バイオ搬出比率)	%/年	19%
産業廃棄物排出量	t/年	1,399
総排水量	m ³ /年	479

□環境目標及びその実績

項目		年度	基準 2018年実績	2019年 (8月～7月)		2020年	2021年
				目標	実績	目標	目標
目標設定項目の二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /年		574,909	564,968	558,953	559,320	553,728
購入電力の削減	kg-CO ₂ /年		46,710	46,243	42,024	45,781	45,323
軽油の削減	kg-CO ₂ /年		441,974	437,555	432,827	433,180	428,848
天然ガス	kg-CO ₂ /年		65,858	60,359	64,251	59,756	59,159
ガソリンの削減	kg-CO ₂ /年		18,496	18,311	17,738	18,128	17,947
灯油の削減	kg-CO ₂ /年		1,871	2,500	2,113	2,475	2,451
一般廃棄物の削減(自社)	kg/年		284	408	347	404	400
事業系一般廃棄物(バイオ搬出比率)	%/年		20%	24%	19%	25%	26%
産業廃棄物の削減 *1	t/年		1,317	1,400	1,399	1,386	1,372
水資源の削減	m ³ /年		394	500	479	495	490
グリーン購入の推進(金額ベース)	%/年		100%	85%	100%	86%	87%

※二酸化炭素排出量の算定に用いた購入電力排出係数は平成28年度東北電力株
 実排出係数0.545(kg-CO₂/kWh)と大和ハウス実排出係数0.585(kg-CO₂/kWh)を用いて算出しています。
 ※化学物質の使用はないことから環境目標は設定しない。
 ※*1産業廃棄物の量は受託中間処理量を含む数値です。
 ※バイオ搬出比率は事業系一般廃棄物処理量に占めるバイオ燃料への再生回収量の比率です。
 ※2019年度以降の目標値は2018実績値及び項目の変動要因を考慮して設定した。

□環境活動の取組み計画と評価並びに次年度の取組み計画

取組み計画	達成状況	評価(結果と今後の方向)
電力の削減 ・節電運動 ・不要照明の消灯 ・設備等の空運転防止 ・空調機器(冷房28℃、暖房20℃)	目標値: 46,243 kg-CO ₂ (2018年度実績値見直し) 実績: 42,024 kg-CO ₂	目標達成 全社員の協力も有り目標を達成する事が出来た。 節電についても日々の積み重ねが出来たと思う。 今後も積み重ねを継続するとともに 社員の意識をさらに高めて行きたい。
自動車燃料等の削減 『軽油・ガソリン・天然ガス・灯油』 ・エコドライブ運転の推進 ・アイドリングストップ ・低燃費車、ガス車への代替推奨 ・施設等の空運転防止(溶融機) ・施設稼働率の向上(溶融機) ※破碎・溶融処理機の燃料は灯油	目標値: 518,725 kg-CO ₂ (2018年度実績値見直し) 軽油(2018年実績に対し): △1% 天然ガス(2018年度実績に対し): 見直し ガソリン(2018年目標に対し): △1% 灯油(2018年目標に対し): 見直し 実績: 516,929kg-CO ₂	目標達成 総体で目標を達成する事ができた。天然ガスについては 作業において天然ガス車使用頻度を上げた為、目標 未達であったが、軽油・ガソリン車は社員全体の協力も有り 大幅に達成する事が出来た。灯油については小雪の影響 もあり使用量も削減できた。 次年度もエコドライブを徹底し全項目が 目標達成できるように活動して行きたい。
水資源の削減 ・節水運動の展開(清掃時など)	目標値: 500 m ³ (2018年度実績値見直し) 実績: 479m ³	目標達成 全社員の協力も有り目標を達成する事が出来た。 社員一人一人、日々の取組が反映していると思われる。 次年度も現状の取組み計画を継続し特に個人意識を さらに高める事に取組んでいきたい。
一般廃棄物の削減(自社) ・裏紙の使用(両面使用) ・ミスコピーの防止 ・エコキャップ運動 ・分別BOXの設置	目標値: 408 kg (2018年度実績値見直し) 実績: 347kg	目標達成 取り組みが浸透し目標を達成できた。 特にミスコピーについて徹底できたと思う。 次年度も現状の取組み計画を継続しコピー使用時には 必ず確認の上使用する様に徹底した活動する。
事業系一般廃棄物(バイオ搬出比率向上) ・分別回収の実施 ・再資源化率の向上 ・分別の協力を頂きバイオ処理 の比率を上げる。	目標値: 24% (2018年度実績値見直し) 実績: 19%	目標未達 お客様の変化及び廃棄物の分別の有無等の影響が有り 目標を達成できなかった。今後、お客様へ分別のお願い 及び回収時の選別の徹底を実行する。 次年度も選別作業を徹底するようにして行きたい。
産業廃棄物の削減 ・選別・分別の徹底 ・再資源化率の向上 ・情報収集(リサイクルの動向)等	目標値: 1,400t (2018年度実績値見直し) 実績: 1399t	目標達成 今年度は目標を達成する事が出来た。 全社員の選別に対する意識を感じる事が出来ました。 次年度も一層選別作業を徹底するとともに お客様へのお願いも進めていく。
グリーン購入の推進 コピー紙・フラットファイル・ボールペン 紙のグリーンマーク商品の優先購入等	目標値: 85% (2018年度実績値見直し) 実績: 100%	目標達成 社員に徹底した意識が確認できた。 次年度も購入時等に特に注視していく。
総括 [代表者] 今年度は、全社員の協力意識を感じる事が出来て全体的に大変良かったと思う。 次年度も全社員に対し意識・行動の徹底を図り目標を達成できるよう日々の活動に取り組んでいくと共に 今後新たな取り組みがないかも含め検討をしていきたい。		

□環境関連法規制等の順守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規は次のとおりである。

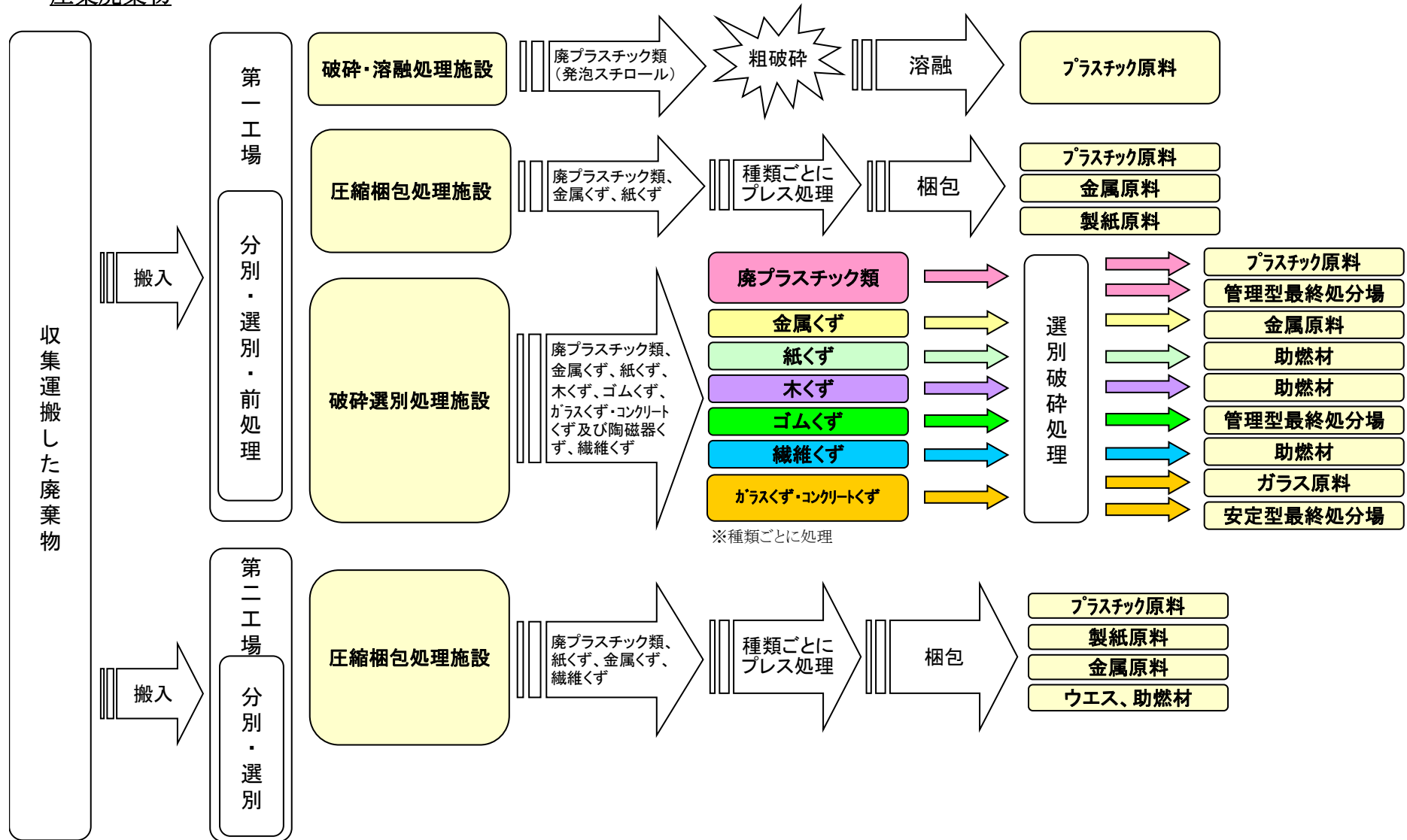
法規制等の名称	該当する要求事項	適用される施設・確認事項等
廃棄物処理法	・産業廃棄物収集運搬業の許可(新潟県)	許可番号 1514034007
	・産業廃棄物処分業の許可	許可番号 1524034007
	・特別管理産業廃棄物収集運搬業の許可(新潟県)	許可番号 1564034007
	・保管基準順守(表示、衛生管理)	保管施設
	・帳簿の記載及び保管	マニフェスト
	・産業廃棄物運搬車の表示及び備えておく書類	収集運搬車両
	・産業廃棄物処理施設の維持管理	中間処理施設
	・技術管理者の選任	2名選任
	・名義貸しの禁止	委託契約書(5年間保管)
	・契約書の作成及び保管	委託契約書(5年間保管)
	・産業廃棄物管理表(マニフェスト)の交付	マニフェスト
	・産業廃棄物管理票交付等状況報告書	県知事に報告(6月末)
新潟県産業廃棄物等の適正な処理の促進に関する条例	・県内産業廃棄物の県内処理(県条例7条) ・処分委託先の確認と記録	マニフェスト 確認と記録
暴力団排除条例	・取引の禁止	委託契約書(5年間保管)
家電リサイクル法	・廃棄物の適正な処理及び資源の有効な利用 ・管理票の発行及び交付 ・使用済家電製品の産業物核当性の判断 ・一般廃棄物、産業廃棄物の運搬許可	廃家電 管理票
騒音・振動規制法	・規制管理基準の順守 ・騒音(第3種区域 65dB) ・振動(第4種区域 65dB)	破砕選別処理施設・圧縮梱包処理施設 (施設非該当) 圧縮梱包処理施設
フロン排出抑制法	・フロン類の適切な回収 ・フロン回収業者の登録 ・第一種特定製品の定期点検	冷媒回収装置 第一種フロン回収業者 業務用空調機3台
長岡市火災予防条例	・少量危険物の保管の届出(第51条)	灯油タンク(409リットル) 廃油の保管施設(400リットル)
消防法	・消化器の設置	施設内全域
悪臭防止法	・自主管理基準の順守	破砕・溶融処理施設
労働安全衛生法	・作業員の安全確保(健康障害の防止) ・使用する重機の定期自主点検 ・新型インフルエンザ対策	安全衛生の指導、物品の支給 (安全靴、ヘルメット、手袋、マスク等) 消毒液、うがい薬の設置
グリーン購入法	・環境物品等の調達推進	事務用品等
長岡市地下水保全条例	揚水施設の届出	揚水設備
水銀汚染防止法	・廃蛍光管	保管管理

□順法の評価

環境関連法規制等の順守状況の定期評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。また、関係当局から過去3年間にわたって違反の指摘、訴訟もありませんでした。

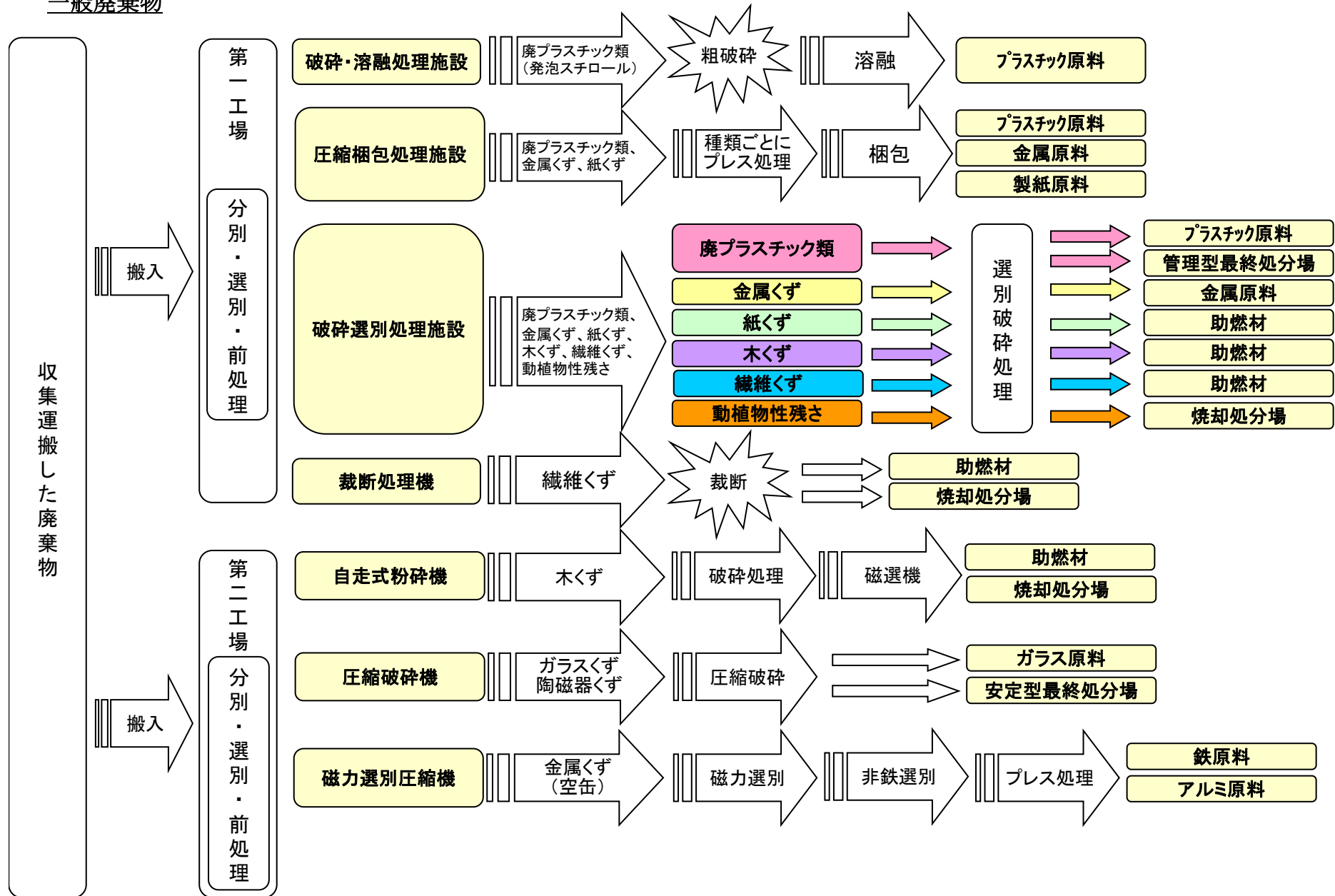
処理工程図

産業廃棄物



処理工程図

一般廃棄物



□受託した産業廃棄物の処理量(一般廃棄物を含む)

2019年(30年8月～1年7月)

処理方法等	廃棄物等種類	処分方法等	処理量(t)	
収集運搬	事業系一般廃棄物		11066.1	
	燃え殻		0	
	汚泥		64	
	廃油		1	
	廃プラスチック類		600	
	紙くず		1	
	木くず		129	
	繊維くず		0	
	動植物性残さ		1861	
	金属くず		255	
	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず		162	
	がれき類		3	
	建設混合廃棄物		0	
	特別管理産業廃棄物(医療系)		13	
	収集運搬量合計			14155.1
中間処理	廃プラスチック類	破砕溶融処理	40.4	
	廃プラスチック類	破砕選別処理	600.3	
	廃プラスチック類	圧縮梱包処理	7	
	紙くず	破砕選別処理	0	
	紙くず	圧縮梱包処理	1	
	木くず	破砕選別処理	204.76	
	繊維くず	破砕選別処理	54.45	
	金属くず	圧縮梱包処理	222.8	
	金属くず	破砕選別処理	46.2	
	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	破砕選別処理	164.03	
	うち 再資源化等	廃プラスチック類	売却	634.6
		紙くず	売却	1
		木くず	売却	153.3
		繊維くず	売却	54.45
		ゴムくず	売却	0
金属くず		売却	222.8	
再資源化等量小計			1066.15	
中間処理合計			1340.94	
最終処分				
最終処分量合計				
中間処理 後の産業 廃棄物	最終処分	廃プラスチック類	管理型最終処分	0
		ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	安定型最終処分場	153.8
	中間委託	燃え殻	再中間処理(委託)	0
		汚泥	再中間処理(委託)	0
		廃油	再中間処理(委託)	0
		廃プラスチック類	再中間処理(委託)	13.1
		紙くず	再中間処理(委託)	0
		木くず	再中間処理(委託)	51.46
		繊維くず	再中間処理(委託)	0
		ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	再中間処理(委託)	10.23
		金属くず	再中間処理(委託)	46.2
		再資源化等	廃プラスチック類	再生利用(売却)
	紙くず		再生利用(売却)	1
	木くず		再生利用(売却)	153.3
	繊維くず		再生利用(売却)	54.45
金属くず	再生利用(売却)		222.8	
再資源化量等小計			1066.15	
中間処理後処分量合計			1340.94	

処 理 料 金

処理料金につきましては、種類や性状によって異なりますので別途お見積り致します。
お見積りは無料ですのでお気軽にお問い合わせ下さい。

□代表者による総括

総括 [代表者]

今年度は、全社員の協力意識を感じる事が出来て全体的に大変良かったと思う。次年度も全社員に対し意識・行動の徹底を図り目標を達成できるよう日々の活動に取り組んで行くと共に今後に新たな取り組みがないかも含め検討をしていきたい。

変更の必要性の有無・指示事項

[環境方針]

現行の環境方針を引き続き継続して活動に取り組んでいく。

変更の必要性： 有 無

[目標]

事業系一般廃棄物の目標値についてはお客様の状況により変動するが、現状社員全体の意識は高くなってきているので今後も継続して行く。また、産業廃棄物の排出削減についても分別方法の変化も見られるので今後の動向を注視していきたい。

変更の必要性： 有 無

[環境活動計画]

31年度の取組み結果を分析し、次年度への取組方を考え、必要に応じた内容や目標値を設定する。

変更の必要性： 有 無

[環境経営システムの各要素]

環境活動を継続して行く上で、定例会議時に情報を適切に伝え、改善指示を明確にする。評価できる部分も確実に伝え、社員全体の意識を高く維持して行く。

変更の必要性： 有 無